



桜—第1号
令和4年4月7日

桜岡小学校ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sakuraoka>

学校教育目標が変わりました！

「共に生きることを喜ぶ かしこく たくましい子に育てます」

～みんなとつながる・みんなでやりぬく・光かがやく さくらっ子～

学校長 後藤 俊哉

玄鳥至（つばめきたる）候となりました。今年は例年になく春の訪れが早く、校庭の桜が散り始めています。春爛漫の季節を迎え、令和4年度が始まりました。引き続き本校の校長を拝命しました。宜しく願いいたします。

昨年度、子ども達のすてきな姿をたくさん目にしました。5年生が企業の力を借りて学んだ「はまっ子未来カンパニープロジェクト」、4年生は「赤い羽根協同募金」活動を通して、自分たちができる地域貢献を考え、校内で募



金活動をしました。6年生は、6年間お世話になった地域や学校にお礼の意味を込めて大久保橋や学校校庭に桜の植樹をしました。全学年を通して、校内学力向上授業研究会では、「自分事で考え、自分の思いや願いを自分の言葉で語り合う」、「学び合いの姿」や「高め合う姿」が見られました。子ども達の真剣なまなざしが印象的でした。

子どもの学力格差は、経済格差がそのまま反映しているという話が定説のように言われていますが、大阪大学教授 志水宏吉氏によれば、子どもの学力は人間関係の「つながり」で決まるとしています。志水氏は、学力格差は経済格差というよりも、子どもと地域・家族・学校との「絆」の差であるとする研究結果を発表しました。

昨年度の実践を改めて振り返ると、交易食品やスパイシーモンキーズ、港南区社会福祉協議会などの企業や公共機関とのつながりや、学援隊や旗当番での地域・保護者の皆様とのつながり、このつながりがあったからこそ、自らの考えやアイデアを分かりやすく伝え、その実現のためにどうしたらよいかを具体的に考え、試行錯誤しながら実現していくというプロセスが踏めたのであり、今求められている学力が身に付いてきているわけだと思います。

今年度も引き続き「つながり力」を大切にしながら、より具体的に分かりやすく発信できる力の育成を目指すとともに、基礎学力の定着にも尽力して参ります。学校教育目標は、スローガンの部分を変更しました。子ども達が常に意識できるよう、教職員や子ども達自身にもアイデアをもらいながら決定しました。また、今年度より3学期制にすることで、評価のスパンを短くし、成果と課題を明らかにしながら、課題については次の成果となるよう、具体策を担任と一緒に考えていきたいと思っています。1学期は学年・学級の基礎づくり、2学期は培った力での実践、3学期は1年のまとめと次年度への準備の期間と考えております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

今年度の方針等については、5月24日（火）PTA総会後に行います。新型コロナウイルス感染防止を受けて、2年間開催できておりませんが、対面実施できればと思っております。

今回、令和3年度横浜市教育委員会表彰で、松村 祐希 教諭が優秀教員奨励賞を受賞しました。一人ひとりが輝くために教職員一丸となってがんばります。一年間よろしく願いいたします。